

日本分析化学会次期会長候補者選挙結果について

日本分析化学会理事会
 本会社員（代議員）による次期会長（2021～2022年度、任期2年）選挙の投票は12月4日に役員等候補者推薦委員会委員長の立会で開票が行われました。その結果、早下隆士氏が最高得票を得て、次期会長予定者に選出されましたので、ご報告いたします。

早下隆士（はやしたたかし）先生 上智大学理工学部・教授
 （本会役員・委員の経歴）
 1993～1997年度 九州支部幹事
 1998～2004年度 東北支部幹事
 1998～2002年度 「分析化学」誌編集委員
 2001～2002年度 「分析化学」誌編集理事
 2005～2008年度 「Analytical Sciences」誌編集委員
 2006～2013年度 分析試薬研究懇談会委員長
 2008～2009年度 関東支部常任幹事
 2012, 2018年度 関東支部副支部長
 2019年度 関東支部長
 2018～2019年度 副会長
 （2019年度筆頭副会長）
 2020年度 業務執行理事

第357回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

LC, LC/MSの分析方法を設定する為には、基礎的な知識が必要ですが、熟練者にとっては当たり前の基礎的な事項も経験の浅い方では気付かない場合があると思われます。そこで技術の伝承が危惧されている中、この暗黙知を明らかにして技術力の向上、作業の効率化、トラブル回避への一助になればと思います。

期日 3月25日(木) 13.00～17.00

会場 Zoom オンライン例会

講演主題 「分析条件設定のために知っておきたい LC, LC/MSの基礎知識」

講演

講演主題説明 (オーガナイザー) (13.00～13.05)

(関東化学㈱) 澤田 豊

(LC分析士三段, LC/MS分析士二段)

1. 「グラジエント溶離の基礎」(13.05～13.40)

(アジレント・テクノロジー㈱) 熊谷浩樹

(LC分析士四段, LC/MS分析士二段)

2. 「より良い LC/MS 分析のための条件設定のポイント」(13.40～14.15)

(エムエス・ソリューションズ㈱) 高橋 豊

(LC分析士二段, LC/MS分析士五段)

3. 「知っておきたい検出の基礎とコラー吸光度検出と蛍光検出」(14.15～14.50)

(㈱島津総合サービス リサーチセンター) 三上博久

(LC分析士五段, LC/MS分析士初段)

休憩 (14.50～15.10)

4. 「LC, LC/MS 転ばぬ先の杖としてのサンプル前処理」(15.10～15.45)

(日本ウォーターズ㈱) 佐々木俊哉 (LC分析士二段)

5. 「HPLC データ解析の基礎とトピックの紹介」(15.45～16.20)

(㈱日立ハイテクサイエンス) 清水克敏

(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

6. 総括「分析条件設定のために知っておきたい LC, LC/MSの基礎知識」(16.20～17.00)

(東京理科大学) 中村 洋

(LC分析士五段, LC/MS分析士五段)

参加費 LC研究懇談会会員：1,000円, 協賛学会(日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会)会員：3,000円, その他：4,000円, 学生：1,000円。参加申込締切後の受付は出来ませんので、ご了承ください。

情報交換会 講演終了後、講師を交えて情報交換会を開催します(会費1,000円)。締切後のご参加は出来ませんので、参加希望者は必ず事前にお申込みください。

参加申込&参加費等納入締切日 3月18日(木)

申込方法 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上、お申込みください。参加費の納入が確認出来た方には、3月19日以降に①例会サイト入場URLと②「視聴者用操作マニュアル」をお知らせします。また、情報交換会参加費納入者には、③情報交換会サイト入場URLをお知らせいたします。

申込先 <https://forms.gle/pv79GVVxT3V267mG9>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)0802349, 口座名：シャ)ニホンブンセキカクカイ(公益社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会)

問合せ先 (公社)日本分析化学会 LC研究懇談会〔世話人 E-mail : sawada@gms.kanto.co.jp〕

第58回化学関連支部合同九州大会
参加および研究発表募集

共催 (公社)日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部

期日 7月3日(土)9時～17時(予定)

会場 北九州国際会議場〔北九州市小倉北区浅野3-9-30, 交通：JR小倉駅より徒歩5分〕

大会ホームページ

<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>

発表申込期間 3月1日(月)～4月9日(金)

予稿原稿締切 5月14日(金)

発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ。ほか依頼講演(8件, 各支部推薦)

依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦

「酵素反応を基軸としたタンパク質分析に資する蛍光ラベル化技術の開発」(九州工業大学) 末田慎二

発表申込方法

大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) から、指示に従って、以下の申込必要事項をお送りください。お申込み後に、受理通知のメールをお送りします。通知がない場合は、本合同大会事務局(化学工学会九州支部)(godo20.scej.kshibu@gmail.com)にお問い合わせください。

参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料。発表登録費は、ポスター発表1件につき3,000円(予稿集1冊含む)。当日受付にて、お支払いください。聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求めください(1冊：1,500円)。

授賞式・懇親会 7月3日17.30(予定)北九州国際会議場にて。会費：4,000円(当日、懇親会会場にてお支払いください)。※ポスター発表受賞者は会費無料となります。

問合せ先 〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学W4-552 第58回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局(実行委員長：梶原稔尚(九州大学))〔電話：092-802-2757, E-mail : godo20.scej.kshibu@gmail.com〕

なお新型コロナウイルスの感染状況により、プログラム、発表者数、懇親会実施有無、懇親会参加費等を変更する場合があります。さらに、オンラインにて開催する場合があります。

——以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

プラズマ分光分析研究会第111回講演会

主催 プラズマ分光分析研究会
期日 3月19日(金)
会場 東京大学本郷キャンパス山上会館2階大会議室
ホームページ <https://plasma-dg.jp/>
連絡先 プラズマ分光分析研究会事務局 沖野晃俊〔電話・FAX: 045-924-5688, E-mail: office@plasma-dg.jp〕

第13回近接場光学に関するアジア太平洋会議 The 13th Asia-Pacific Conference on Near-Field Optics (APNFO13)

主催 APNFO13組織委員会
期日 7月4日(日)~7日(水)
会場 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟鈴木記念ホール
ホームページ <http://www.nano-optics-group.org/apnfo13/>
連絡先 APNFO13組織委員会〔E-mail: APNFO13-secretariat@es.hokudai.ac.jp〕

「分析化学」年間特集「食」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2021年度の年間特集は「食」をテーマとすることといたしました。

本特集では、「食」と分析化学の関わりを、基礎・応用を含め幅広い観点から見渡し、社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第70巻(2021年)合併号の冒頭に掲載する予定です。

国内外、産学官を問わず、「食」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌のホームページをご参照ください。

特集論文の対象:「食」に関連した分析化学的な基礎・応用に関する論文。1)食品中栄養及び機能性成分の分析法開発・応用, 2)食品中汚染物質・有害物質の分析法の開発・応用, 3)食品由来の成分分析法の開発, 4)食物を介した汚染物質・有害物質の摂取量の評価・分析法, 5)無機元素, 同位体比, 有機成分及び遺伝子等の差異を用いた食品の産地や起源等を判別する技術, など。

特集論文原稿締切: 2021年3月26日(金)(第3期)

「分析化学」特集「電気分析化学の真骨頂」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、電気分析化学研究懇談会と共同で「電気分析化学の真骨頂」と題した特集を企画しました。電気分析化学は、ポーラログラフィーによる微量金属、有機物分析から出発し、現在では、ボルタンメトリー、クーロメトリー、ポテンシオメトリーなど多様な方法論の発展や電極材料の開発に支えられながら、環境、医療、バイオ、エネルギーあるいは標準物質の値付けなど、広範な分野で活用されています。また、分析対象の開拓、電極材料や新規セルの創製、装置・測定法の開発、理論の深化など、電気分析化学における多面的な発展も進んでいます。そのような局面において、数年前に、その多様性を有機的に連繋させる総合的な議論の場として、電気分析化学懇談会が新設されました。

このような背景に鑑み、本特集号では、電気分析化学の真骨頂が発揮された研究に関する論文の投稿をお待ちしています。奮ってご投稿ください。詳細は分析化学誌ホームページをご覧ください。

特集論文原稿締切: 2021年4月16日(金)

日本分析化学会標準物質についてのお知らせ

マグネシウム認証標準物質7種類の頒布開始

◇微量元素分析用 高純度マグネシウム認証標準物質
[JAC 0141~JAC 0143 (ディスク状, 3種類)]
JIS H 2150に準拠したインゴットからピレットを作製し、押し出し加工により丸棒にし、ディスク状に切り出した標準物質で3~6元素を認証した。頒布本体価格: 1ディスクで本会団体会員: 40,000円, それ以外: 60,000円。

◇汎用マグネシウム合金認証標準物質
[JAC 0151~JAC 0154 (ディスク状, 4種類)]

JIS H 4203 に準拠したマグネシウム合金を連続鋳造で作製したピレットを押し出し加工により丸棒にし、ディスク状に切り出した標準物質で Al, Mn, Zn を主成分に他 3~7 元素を認証した。頒布本体価格：1 ディスクで本会団体会員：40,000 円、それ以外：60,000 円。

* 頒布本体価格（送料込み、消費税別）について：上記 7 種類を 1 セット購入の場合、10% 引きとします。

認証標準物質の認証値については、多数の試験機関が参加した共同実験で得られた値を基に標準物質委員会が認証したものである。PT 表示の標準物質は ISO/IEC17043 に基づいて、技能試験で報告された多数の機関の分析値から求めた中央値を付与値として、標準物質委員会が認めたものである。試料の分析にあたり、本標準物質は併行して分析して得られた分析値を認証値と比較して分析値の妥当性を判断するときなどに用いる。

認証書などさらに詳しい情報は本会ホームページ (<https://www.jsac.jp>) をご覧ください。

申込方法 希望標準物質名（製品番号も明記）、申込者氏名、送付先（郵便番号、住所、所属、電話番号）、団体会員・それ以外の別（団体会員の場合は会員 ID）、数量・料金、請求書宛名を明記のうえ、下記にお申し込みください。なお、本体価格は送料込み、消費税別です。

申込及び問合せ 〒105-0012 東京都港区芝大門 2-12-7 (RBM 芝パークビル) 西進商事(株)東京支店 [電話：03-3459-7491, FAX：03-3459-7499, E-mail：info@seishinsoyaji.co.jp, URL：http://www.seishinsoyaji.co.jp/]

技術的な問合せ 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号 (公社)日本分析化学会 標準物質委員会 事務局 [電話：03-3490-3352, FAX：03-3490-3572, E-mail：crmpt@ml.jsac.or.jp, URL：https://www.jsac.jp/]

分析化学「論文作成支援制度」のご案内

「分析化学」誌編集委員会では、「分析化学」への積極的な論文投稿を支援することを目的として、2020 年 1 月より「論文作成支援制度」をスタートいたしました。本制度では、「分析化学」誌に論文を投稿することを希望しているものの、論文作成の経験が少なく、また適切な指導を受ける環境にない本会会員の皆様に、分析データの取りまとめから原稿執筆まで、論文作成全般にわたって各専門分野のインストラクターがお手伝いいたします。対象は日本分析化学会正会員、学生会員、ならびに維持会員、特別会員、公益会員に所属する個人とし、費用は無料といたします。論文を何とか作成したものの審査を受ける自信がない方や、論文作成に取りかかったが身近に指導をしてくださる方がおらず、うまくまとめることができずに苦慮しておられる方は、本制度を積極的にご利用いただくようお願いいたします。

なお、特別な理由がない限り、完成した論文は「分析化学」誌に投稿していただきます。インストラクターは論文審査には一切関与せず、「論文作成支援制度」を利用することが「分析化学」誌に採択されることを保証するものではありませんが、研究論文としての体裁を整え、審査に耐えうる論文の作成に役立つものと思います。詳細は「分析化学」誌ホームページをご覧ください。

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをどうぞ電子メールでお送りください。送り先は shomu@jsac.or.jp です。原稿の長さには制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月 25 日（例：1 月号掲載→11 月 25 日締切）となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 2) 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。ただ、本会事務局長宛にお問い合わせください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 4) 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 5) 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルを shomu@jsac.or.jp にお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋（共催）

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。
9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。（後援又は協賛）
11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとっても有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

初めて書く論文は母語の日本語で！ “第20回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2021年（第70巻）に第20回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

「分析化学産業技術論文賞」のご案内

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2019年に「分析化学産業技術論文賞」を設けました。独創的であり、実用的な分析技術や測定機器、並びに科学技術や産業の発展に貢献すると認められる論文を選定し、表彰することといたしました。企業技術を周知する場としても活用して頂けるかと思っておりますので、奮ってご投稿ください。また、国内における科学技術の国際競争力強化のため産学連携が推進されています。その研究成果を企業の視点からご投稿ください。若手研究者のご投稿もお待ちしております。詳細は「分析化学」誌ホームページをご参照ください。

表彰対象論文：1) 独創的であり、実用的な分析技術や機器、並びに科学技術や産業の発展に貢献すると認められた論文。
2) 企業あるいは公設試験研究機関に所属する者が筆頭著者あるいは連絡代表者である論文。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌ではこれまで著者の方々に別刷の購入をお願いしてまいりましたが、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することにいたしました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式（ P ：印刷ページ数）（単位：円）

会員の場合： $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ （印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円）

会員外の場合： $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ （印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円）

*上記に消費税がかかります。

「Analytical Sciences」別刷頒布価格のお知らせ

「Analytical Sciences」掲載の投稿論文の別刷頒布価格は下記のとおりです。

- 頒布部数：50部を最小単位とし、以降50部単位で頒布します。
- 価格：次の計算式に従って算出された値（円）。
 $20000 + 2500 \times p + 25 \times p \times (n - 50)$
但し、 p は掲載論文の印刷ページ数で、奇数の場合には1を加えた値、 n は別刷希望部数。
- 消費税10%がかかりますので、ご了承ください。

第 81 回 分析化学 討論会 —オンライン参加予約申込方法—

標記討論会は当初予定していた山形大学工学部での現地開催は行われず、Web を利用したオンライン開催となります。本討論会に参加される方（講演発表をされる個人会員の登壇者も含む）は、全員参加登録をしていただきます。本討論会ではオンライン参加申込登録システム（以下、参加登録システムと略）を使用します。詳細及び最新情報は第 81 回分析化学討論会ホームページ（以下、討論会 HP と略）を参照ください。講演要旨集は討論会 HP 上で電子配布いたします。公開日は別記を参照ください。

第 81 回分析化学討論会 HP : <http://conference.jsac.jp/81touron/>

主催 (公社)日本分析化学会
会期 5月22日(土)・23日(日)
日程 5月22日: 主題講演(口頭), 一般講演(口頭, ポスター), 若手講演(ポスター), テクノレビュー講演(口頭, ポスター), 産業界 R&D 紹介講演(ポスター), 依頼講演, ランチタイムオンラインセミナー, オンライン交流会, 機器展示会
 5月23日: 主題講演(口頭), 一般講演(口頭, ポスター), テクノレビュー講演(口頭, ポスター), 高校生ポスター発表, 依頼講演, ランチタイムオンラインセミナー, 機器展示会

※日程は変更する場合があります。

会場 Web を利用したオンライン開催
オンライン交流会 5月22日(土)18時~20時(予定)

【参加予約申込方法】

以下の注意事項を熟読のうえ、申込締切期日までに参加予約申込をしてください。Web 参加予約申込のお支払最終締切日は4月26日(月)です(但し、クレジット決済のみ)。

1. 参加登録料などの諸費用は、一切返金できません。
2. 見積書、納品書、請求書は、原則として発行致しません。必要な方は、申込者において所定の書類を作成のうえ、返信用封筒(切手貼付)を同封して分析化学討論会ヘルプデスクあてお送りください。記名、捺印のみして返送いたします。電話、メールでの書類作成依頼には応じかねます。

参加予約申込締切日

※お支払方法により締切日が異なります。

郵便振替 Web 申込締切: 4月14日(水)14時厳守
 郵便振替払込締切: 4月19日(月)
 コンビニ決済 Web 申込締切: 4月20日(火)14時厳守
 コンビニ決済最終入金締切: 4月23日(金)
 クレジット決済 Web 申込締切: 4月26日(月)14時厳守

参加登録料

予約登録: 会員 9,000 円, 学生会員 3,000 円, 会員外 16,000 円, 会員外学生 5,000 円

(ご注意)

- ・会員には団体会員(維持会員)に所属する方を含みますが、特別会員及び公益会員の場合は、1名に限り会

員扱いとなります。

- ・会員の方の参加登録料は不課税扱いです。会員外、会員外学生は税込金額です。
- ・予約登録締切後の通常登録はクレジット決済 Web 申込のみで5月21日(金)14時まで受け付けます。通常参加登録料: 会員 12,000 円, 学生会員 4,500 円, 会員外 18,000 円, 会員外学生 6,000 円

【討論会参加登録費用領収書発行】

参加登録費用の領収書については、PDF による発行となります。決済完了後に申込システムより取得いただけます。

【Web 版講演要旨集の閲覧方法】

- ・本討論会へ参加登録をされた皆様は、5月8日以降、参加登録番号と参加申込に使用されたメールアドレスで閲覧・ダウンロードができます。
- ・6月22日(火)14時まで閲覧・ダウンロードが可能です。6月23日以降は閲覧できません。
- ・スマートフォン等の機器では正しく表示されない場合があります。ご了承ください。

【オンライン講演について】

本討論会では、口頭発表・ポスター発表ともにオンラインで実施いたします。詳細は討論会 HP を参照のうえ準備してください。

☆ ☆

【オンライン講演申込登録をされた皆様へ】

講演要旨本文入力締切日は3月10日(水)14時です。講演申込登録をされた方は、締切日までに必ず要旨本文の入力を済ましてください。昨年の討論会から1講演あたり A4 判 1 頁に変更しています。詳細は討論会 HP を参照のうえ要旨を入力してください。締切日以降は入力・修正ができません。

【講演要旨集の発行日について】

第 81 回分析化学討論会 Web 要旨集の発行日は、2021 年 5 月 8 日です。特許出願の際は、特許庁ホームページを参照のうえ、専門家である弁理士にご相談く

ださい。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、公益社団法人日本分析化学会に帰属します。

【討論主題（主題講演）】

討論主題（主題講演）

第81回では6件の討論主題を設定します。

1. ニューノーマルと分析化学
オーガナイザー：火原彰秀（東北大多元研），西澤精一（東北大院理）
2. 実行キーで始まる分析化学
オーガナイザー：福山真央（東北大多元研）
3. エクスポジームと分析化学
オーガナイザー：大江知行（東北大院薬）
4. 廃炉に貢献する分析化学
オーガナイザー：高貝慶隆（福島大理工）
5. SDGsと分析化学
オーガナイザー：壹岐伸彦（東北大院環境）
6. 産業界に貢献する分析化学
オーガナイザー：遠藤昌敏（山形大院理工）

※討論趣旨及び依頼講演は討論会HPを参照ください。

【産業界R&D紹介講演ポスター】

主催 （公社）日本分析化学会・「産業界における研究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運営委員会

趣旨 産業界の分析部門間及び産学官の交流・情報収集・研究議論・技術発信/アピール・若手育成と、学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日 5月22日（土）午後

会場 Webを利用したオンライン開催

講演形式 すべてWeb上の仮想ポスター発表会場におけるポスター発表形式。講演時間は60分の予定です。

【高校生ポスター講演】

主催 第81回分析化学討論会実行委員会

期日 5月23日（日）

会場 Webを利用したオンライン開催

発表形式 一般講演ポスターと同様のWeb上の仮想ポスター発表会場における60分のポスター発表形式。講演時間は60分の予定です。

※高校生ポスター講演は討論会HPを参照ください。

【展示会・企業セミナー・パナー広告】

主催 第81回分析化学討論会実行委員会

分析・計測機器関連メーカー・販売会社、分析技術提供会社、関連書籍出版社・販売社等と討論会参加者の相互交流・情報交換の場として、オンラインでの展示会を開催いたします。また、期間中の昼休みを利用して企業セミナー（ランチタイムオンラインセミナー）を開催いたします。

一)を開催いたします。

【付設展示会（オンライン版）】

展示会公開期間（予定） 4月22日（木）～2ヶ月

公開場所（予定） 第81回分析化学討論会HP

展示費用（予定） 1枠 50,000円（税別）

締切日（予定） 3月31日（水）

【企業セミナー（ランチタイムオンラインセミナー）】

開催形式 会議システム利用のオンラインセミナー

日時（予定） 5月22日（土）・23日（日）12:10～12:50

開催費用（予定） 1枠 50,000円（税別）

締切日（予定） 4月21日（水）

【パナー広告】

公開場所 第81回分析化学討論会HP

掲載期間（予定） 1月～5月

掲載料金（予定） 1枠：1月～5月 50,000円，3月～5月 30,000円（いずれも税別）

問合せ・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4（友野本社ビル）（株）明報社（担当：後藤）

【電話：03-3546-1337，FAX：03-3546-6306，E-mail：info@meihosha.co.jp】

*申込方法および詳細は（株）明報社にお問い合わせください。

【各種お問い合わせ先】

1. 公益社団法人日本分析化学会事務局

会員登録情報の変更、会員ID・パスワード及び討論会全般に関する質問

E-mail：online@jsac.or.jp

電話：03-3490-3351（夜間，土日，祝日を除く）

2. 第81回討論会ヘルプデスク

講演申込などWebシステムに関する質問

E-mail：jsac-touron@bunken.co.jp

電話：03-6824-9368（株）国際文献社内

注）電話対応時間は土日，祝日を除く営業日の9時～12時，13時～17時です。

3. 第81回分析化学討論会実行委員会事務局

討論会全般に関する質問

〒992-8510 米沢市城南3丁目4-16

山形大学大学院理工学研究科

実行委員長 遠藤 昌敏

E-mail：81touron2021@gp.yz.yamagata-u.ac.jp